

◆戸別収集モデル地区説明会

平成 24 年 6 月 23 日（土） 午前 10 時から午前 11 時

西鎌倉小学校体育館 48 名

- 1 環境部長から挨拶
- 2 資源循環課担当課長から戸別収集モデル事業実施の背景等について説明
- 3 平成 24 年 10 月 1 日からのモデル事業の説明
～DVD 放映～
～リーフレット説明～
- 4 質疑

Q 道路上に散乱しているごみをクリーンステーション（CS）に出していたが、今後はどうなるのか。

A 有料化になった場合の減免するごみについて、今後、審議会の中で検討していく。ボランティアごみやオムツ世帯については対象としていきたいと考えている。

Q 戸別収集になるということで喜んでしたが、全品目ではないのが残念。CS 管理をどうしていくのか、市の考え方はどうなのか。

A 戸別収集のデメリットの一つに収集コストがかかることがあげられる。クリーンステーション収集のデメリットはカラス対策等維持管理の負担がある。コストと戸別収集の品目をどこまで広げるのかといった接点をどこにするのかについて、審議会の中で検討してきた。まずは、燃やすごみを減量することが大前提であり、カラス被害等が多い燃やすごみと容器包装プラスチックとした。それから、さまざまなものが出される燃えないごみとさせていただいた。他市の事例をみてもこの 3 品目を戸別品目としているところが多い。

今回のモデル事業では、3 品目を実施するが、その結果を受けて、今後どの品目までを戸別収集にするのかといったことは、検討課題である。

Q 有料化になった場合の具体的な値段はどの程度なのか。

危険・有害ごみについてもひとくくりに袋に入れてだすことになるのか。

A 審議会の中で、藤沢市と同じに 1L 当たり 2 円の方角で検討している。40L 袋 1 枚が 80 円となっている。藤沢市の事例では、20L 袋で出されている方が多いと聞いている。

危険・有害ごみについては、安全面のことから分別をお願いしたい。

有料化品目の詳細はまだ決まっていないが、他市の事例をみると燃えないごみは有料化となっても危険・有害ごみについては、無料となっているところもある。

その場合は、燃えないごみについては指定袋に入れていただくが、危険・有害ごみについては今まで通り、品目ごとにまとめて透明・半透明の袋に入れて出していただくこ

とになる。

Q CSに残る品目はいわゆる資源ごみで重量があるものになる。鎌倉山地区は山あり、坂ありとCSに行くまでにかかるので車を利用して出している。

将来的な課題として、3品目以外の戸別収集品目の拡大、また、CSも4~5世帯で1か所利用しているような場所もあるので、もう少し広域で利用するなど、CSの将来展望についてはどのように考えているのか。

A ご指摘のとおり、戸別収集後のCSの在り方については、担当の中でも議論をしていかななくてはならない課題と認識はしている。

しかしながら、今の段階ではまず、この3品目で全市戸別収集をスタートさせ、安定してから、そういった課題について取り組んでいきたいと考えている。今しばらくお時間をいただきたい。

Q 個人が責任をもってごみを出すことについては理解しているし、戸別収集は賛成だが、コストがどの程度かかるのか、全体収支について伺いたい。

また、集合住宅についての対応はどのように考えているのかということについても伺いたい。

A 現段階では、戸別収集の経費と、有料化による手数料収入、また燃やすごみが減量することによる処理コストの減等を見込んだ場合の収支の試算は、約2億の増額と推計している。

モデル地区を実施することで必要と見込んでいる車両台数等の検証し、収支の見込みをみていくことになる。

集合住宅については、1戸ずつ回るとは難しいと考えており、専用集積場所に出していただくことになる。集合住宅専用の集積場所を設置することで、排出者が今よりは明確になることで分別に対する意識が高まることを期待している。

Q 集合住宅に対して条例化するなど、対応については、明確にしてもらいたい。また、収支について、口頭での説明をしてもらったが、今後、きちんと市民に周知をしてもらうことを要望する。

Q モデル地区はいつまで続くのか。ボックス型の処理についてはどのように考えているのか。

A モデル地区は平成25年10月の全市実施までの間、中断することなく続けていくことを予定している。

ネットボックスについては、ペットボトル収集はCSなので使い続ける場合もあるかと思うが、それ以外の品目では使わないので処分したいとの申し出があれば、担当レベルの段階ではあるが、市が責任をもって処分していく方向で考えている。

Q 10月からのモデル事業がスタートした場合、これは全戸なのか。鎌倉山地区ではないが、CSでうまくいっているのだから、CSを残してもらいたいと希望するのであれば、CSに出してもいいとの回答をもらったのでモデル地区を了承したとも聞いているが。

A 他地区において、全市実施になった場合、CSでうまくいっているので残してもらいたいという意見はいただいているが、モデル地区の中ではそういった要望は聞いていない。戸別収集は個々のごみに対して責任をもっていただくという中で、CS収集となると、周辺住民の方の理解等といった条件も異なるので、一律にわかりました、という回答ではなく、個別の相談になる。

Q 住まいが43号道路に該当し、砂利道のため、がけ崩れが一番心配。重量のあるパッカー車がどこまで入ってこられることに心配がある。

A モデル地区内については、既に担当が歩いて、パッカー車で収集するところ、危険なので軽ダンプ車に対応するところを調査している。個別案件として対応させていただきたい。

<問い合わせ>・・・説明会終了後、「問い合わせ」に記載された意見等。

・生ごみ処理機の土は何ごみとして排出したらいいのでしょうか。

